

患者ID:@PATIENTID

2008.12.16作成
2018.4.28改訂

@PATIENTNAME 様 食道化療(FP療法ショートハイドレーション)

指示者	@USERNAME
コース数	

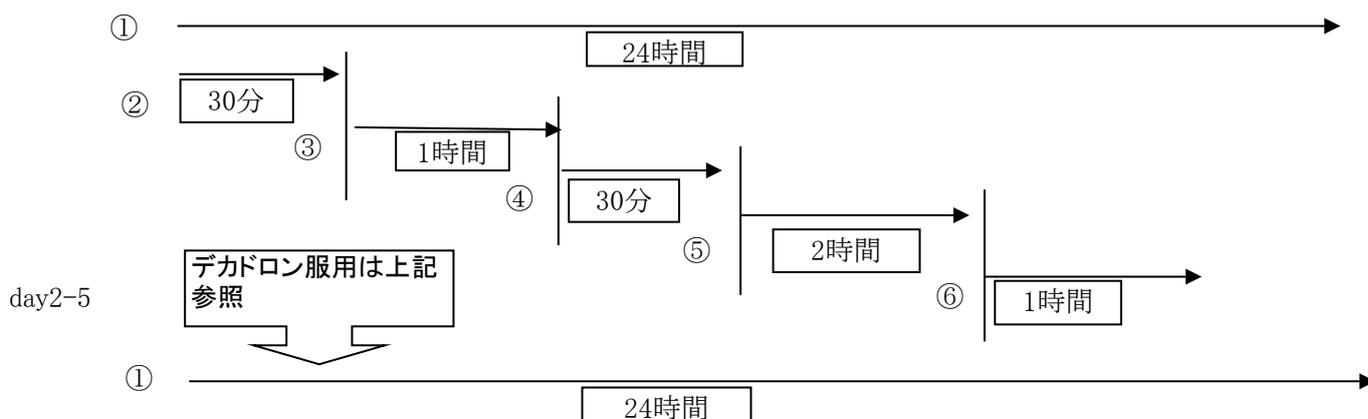
身長	HEIGHT01_D0	cm
体重	HEIGHT01_D0	kg
体表面積	#VALUE!	m ²

実施印

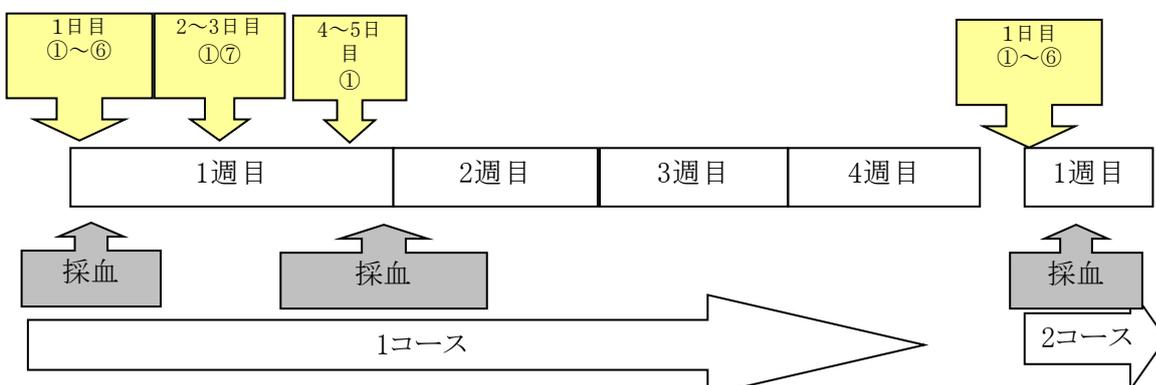
	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	day1	day2	day3	day4	day5
①	生理食塩水1000mL 5FU 800mg/m ² ()mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値	24時間	点滴					
②	アロキシ1V プロイメンド1V デカドロン3.3mg 3A 生食100mL	30分	点滴					
③	ソルデム1 500mLmL 硫酸マグネシウム8mL KCL10mL(0.5A)	1時間	点滴					
④	マンニトール200mL(1Vから100mL捨てて)	30分	点滴					
⑤	生理食塩水250mL ランダ 80mg/m ² ()mg/body 最小単位5mg #VALUE! 計算値	2時間	点滴					
⑥	ソルデム1 500mL KCL注10mL(0.5A)	1時間	点滴					
⑦	デカドロン(0.5mg)8錠2×朝昼食後4日分 day2-5		内服		day2-5に服用			

投与手順

day1



スケジュール



注意

CDDPの量が500mg/m²を超えたときは蓄積性の神経毒性に配慮し、慎重投与での継続か、CDDP中止の検討をする。
 適用条件は24hクレアチニンクリアランス50mL/min以上
 75歳以上、24hクレアチニンクリアランス50mL/min以下の患者は慎重投与

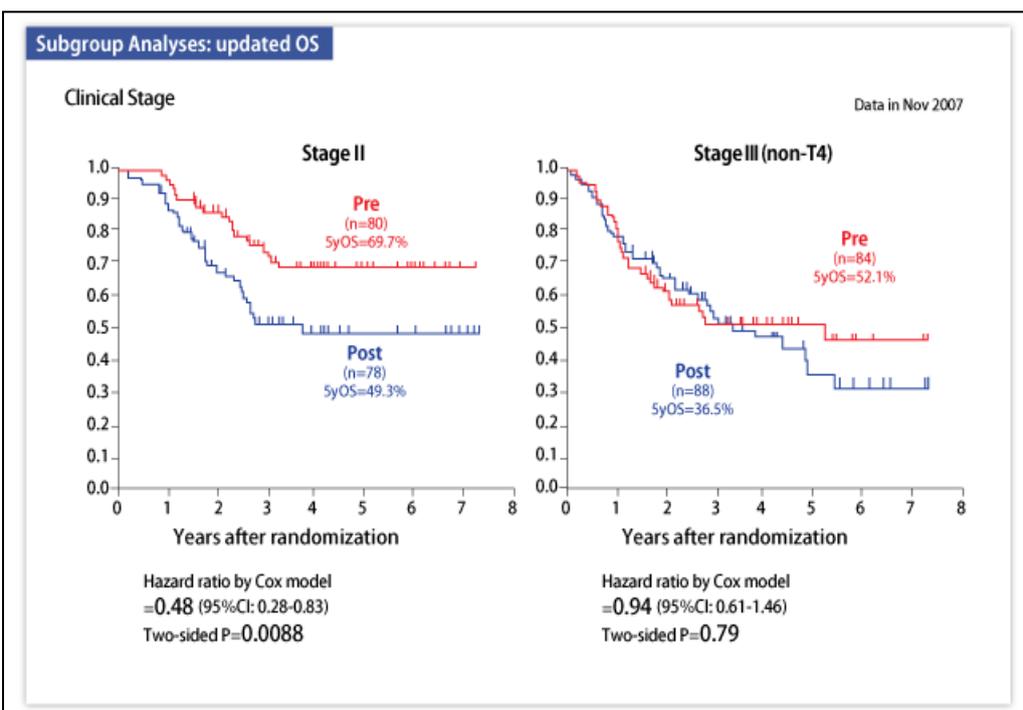
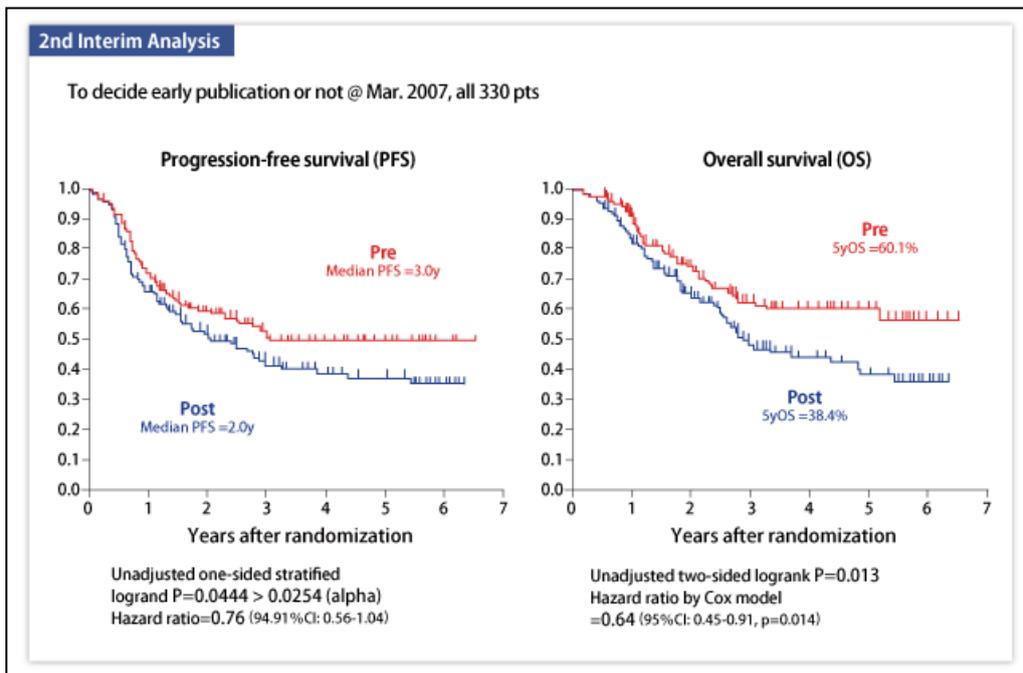
副作用	grade1	grade2	grade3	grade4
貧血	16	9	5	0
白血球減少	7	6	3	0
血小板減少	5	1	1	1
Tbil上昇	2	0	0	0
GOT上昇	12	3	0	0
BUN上昇	8	1	0	0
Cr上昇	3	0	0	0
悪心嘔吐	12	12	1	0
下痢	4	0	0	0

Iizukaら n=39

治療成績

切除不能または再発食道扁平上皮癌では、Iizukaらの報告によると、奏効率35.9%(14/39)。奏功例の生存期間中央値は9.2ヶ月、非奏功例では5.6ヶ月。

術前、術後補助化学療法の検討
 JCOG9907 ASCO2008 #4510



Stage II/IIIの食道癌において、術前FP療法は術後FP療法に比較して食道扁平上皮癌stage II/IIIのOSを改善した。